

徳島市まちづくり総合ビジョン策定市民会議 第3回「つなぐ」まち部会 会議録（要旨）

日 時 平成29年1月26日（木） 午後3時30分～4時50分
場 所 徳島市役所8階庁議室
出席者 委員14名、担当部局、事務局

1 開会

2 徳島市まちづくり総合ビジョン（素案）の全体像について

（事務局）

「徳島市まちづくり総合ビジョン（素案）」は、これまでの検討資料「将来ビジョン編」と「施策方針編」について、頂いたご意見を参考に修正を行い、1冊にまとめたものである。

「将来ビジョン」部分について、これまでの資料からの変更点を中心に説明

（委員）

2060年に24万人超という目標は、社会保障人口問題研究所の推計より10万人近く多いものであり、非常に厳しい目標と思う。

地元に着愛を持つ子供たちを増やすために、学校現場で、まちの歴史を学ばせ、自分の地域の良さを語るができるようになるような教育をしてほしい。そうしなければ、インバウンドに対しても、徳島の良さをアピールすることができない。

（担当部局）

委員のご指摘はもっともであり、現在国をあげてグローバル人材の育成に取り組んでいるが、日本を知り、ふるさとを愛する人材の方が国際的に活躍することができると思う。

現在、小学校1年生から地元とふれあう授業をしており、高学年から中学校においては、自分のまちの伝統・歴史に直接触れる学習がされている。学習指導要領も国を愛する人材育成を目標としているところである。

（委員）

そのような取組をしているのであれば、総合ビジョンにも記載しておいてほしい。

3 “「つなぐ」まち・とくしま”にかかるとる施策・重点事業等について

（事務局）

「徳島市まちづくり総合ビジョン検討資料（推進プラン編）」について、これまで

の検討資料から、会議での意見を踏まえ、取組方針、成果指標等を調整したほか、具体的な重点事業を加えたものであることを説明

市民満足度の高いまちを目指すという視点から、成果指標に市民満足度に関する項目を追加し、それぞれの割合を今後10年間で10ポイント以上向上することを目指すこととしていることを説明

(1) 基本政策「次世代につなぐ」について

(事務局)

基本政策「次世代につなぐ」に関連する施策について、これまでの資料からの修正点、成果指標、重点事業等について説明

(委員)

施策1-2 学校教育の充実の取組方針「国際化への対応」について、「小・中学校における英語活動」とあるが、中学校は教科としての英語科であり、英語活動とは言わない。施策3-1 人権尊重・多文化共生社会の実現に再掲もあるので確認しておいてほしい。

(担当部局)

検討する。

(委員)

施策1-1 子ども・子育て支援の充実の成果指標の保育所入所待機児童数のH28現状値が19人とあるが、平成28年のいつの時点の数字であるか。もっとたくさんいるように聞いているが。

(担当部局)

平成28年4月現在の数字である。この19人というのは、国の統一的な基準に照らした場合の数字であり、他に利用可能な保育所があるにもかかわらず、特定の保育所を希望し、保育所に入所していない方を含めれば100人近くになる。

(部会長)

待機児童の定義付けでもいれておけばよいのではないか。

(委員)

保護者からの要望も色々あり、大変であると思うが、待機児童はできるだけ減らしてほしい。

(委員)

市民意識調査を取り入れたのは良いことだと思う。

市民満足度を10ポイント以上上げるということであるが、施策1-1では現状52%のところを目標値を70%としており、目標数字が異なっているのではないか。

(事務局)

分かりやすい数字にするために、端数を切り上げて丸めた数字にしている。

(委員)

施策1-1の取組方針「子育てに係る意識啓発の推進」で、「結婚から出産・育児に至る」とあるが、結婚と出産の間に妊娠を入れてはどうか。

また、重点事業の赤ちゃんの駅は新しい取り組みであるので是非PRしてほしい。

(担当部局)

妊娠を入れることについては検討する。

赤ちゃんの駅については、平成28年9月に予算化した事業で、授乳やおむつ交換をすることができるスペースのある施設の情報を一元的に特設サイトで公開していくもので、本日公開したところである。

(委員)

保育所の待機児童数が施策1-1の成果指標とされているが、重点事業として学童保育会館の整備が挙げられているので、学童保育の待機児童数も入れてほしい。先日、新聞にも取り上げられていたところでもある。

(事務局)

本日は、担当課職員が不在のため、調整したい。

(委員)

施策1-3教育環境の向上の成果指標に統合型校務支援システム整備率が挙げられているが、教員の負担軽減につながる良い取組であり、感心している。これには、かなりの費用が必要となるものなので、無線LANの整備とは別にしてはどうか。

(担当部局)

無線LANは国も進めており予算措置される可能性が高いが、校務支援システムについては、今後の検討に応じて予算措置されていくものなので、別の指標としても、100%に到達するかどうかわからない。県教育委員会と連携して進めていきたいと考えている。

(委員)

赤ちゃんの駅の現状はどうなっているのか。

(担当部局)

現在73件の登録が完了し、ホームページで公開したところである。市立施設も20数か所ある。

(部会長)

「赤ちゃんの駅」を用語集に入れておいてほしい。

(2) 基本政策「社会をつなぐ」について

(事務局)

基本政策「社会をつなぐ」に関連する施策について、これまでの資料からの修正点、成果指標、重点事業等について説明

(委員)

施策2-4 障害者福祉の充実の取組方針から「障害者への理解の促進」を削除したのはなぜか。また、成果指標から「グループホームの利用者数」を削除したのはなぜか。

(担当部局)

「障害者への理解の促進」については、取組方針「障害者が暮らしやすい環境づくり」にまとめたものである。

「グループホームの利用者数」については、施設整備の問題もあり、施設整備は県が取り組むものであって市の取組とすることが難しいことから削除したものである。

(3) 基本政策「心をつなぐ」について

(事務局)

基本政策「心をつなぐ」に関連する施策について、これまでの資料からの修正点、成果指標、重点事業等について説明

(委員)

施策3-1の重点事業「外国青年招致事業」の目標値が平成29年度から平成31年度の間で、60%、35%、60%となっているのはなぜか。

(担当部局)

平成30年度に数値が下がっているのは、平成30年度から小学校への英語科導入の先行実施により、総時数が増加することから、外国指導助手を増員しても充足率と

しては、下がってしまうためである

(委員)

注意書きを付けるとかしておいてほしい。

(事務局)

検討する。

(委員)

施策 3-1 の取組方針「人権教育の推進」で、「保・幼・小・中と一貫した人権教育を実施」するとあり、いずれも市立の施設のことと思うが、高校は入れなくてよいのか。市として所管する高校が 1 校しかなく、全ての高校と読まれるのを避けたいというのであれば、施策 1-2 学校教育の充実の取組方針で「公立の幼稚園については」と記載しているのと同じように記載すればよいのではないか。

(担当部局)

保育園、幼稚園など私立のものがある中で記載しているので、検討したい。

(事務局)

表現を調整したい。

(委員)

施策 3-1 について、徳島県の補助事業で、外国人の子どもに対して学校現場に日本語講師を派遣する事業がある。全国的にも類がない取組なのだが、重点事業に入っていないのはなぜか。

また、外国人の親に対して情報が届かない問題について、市町村の窓口で、多言語で日本語教育の機会について情報提供すべきと思うがどうか。

(担当部局)

登録の際の情報発信については検討したい。

多言語での情報提供について、全部というのは難しいが、現在、市のホームページは英語・韓国語・中国語に変換することができるようになっている。

(担当部局)

学校への講師派遣事業には取り組んでおり、予算の上限近くまで派遣を実施している状態である。しかし、いつまで県の補助が継続されるのか担保のない事業であり、いつまで続けられるかわからない。このため、重点事業とはせず、取組方針で触れて

いるが、もう少し具体的なことが書けないか検討したい。

(委員)

施策 3-1 の重点事業「教職員への教育研修の実施」で、「教科の内容について知識を深め」とあるが、教科以外の教育活動も含め、「教科等」としてほしい。また、「市立」ということであれば、高校も入るのではないか。

(担当部局)

「教科等」と全体が網羅できるようにしたい。
「市立」と記載している以上は高校も入れたい。

(委員)

保育所に関しても人権意識のめばえがあると思うが、保育士への研修はどうなっているか。

(担当部局)

取組方針には保育所についても記載している。
重点事業以外でも様々な事業を行っているところである。

4 その他

(事務局)

資料「市民会議意見まとめ」について説明
次回の市民会議全体会の日程を報告